

## 気候変動シンポジウムについて

日本気象学会は、最近の気候変動の研究の重要性に鑑み、気候変動に関するシンポジウムを計画し、まずその手始めとして、昨年12月、気候変動の諸要因に焦点をあてたシンポジウムを開いた。そして、本年度もさらにそれを発展させるシンポジウムを、12月に開く予定であった。

一方、国際的にもこの問題の重要性が強調され、本年2月ジュネーブで世界気候会議(WCC)が開かれ、さらに、去る5月の世界気象機関(WMO)の総会で、世界気候計画(WCP)が決定された。このような国際的な動きに対応して、昨年12月、日本学術会議地球物理研究連絡委員会内に気候小委員会(委員長 山元竜三郎会

員)が作られ、気候変動の研究の進め方について論議し、その中で気候変動のシンポジウムが検討されていた。

また、文部省特別研究「環境科学」気候変動と人間活動検討班(責任者 山本義一会員)でもこの種のシンポジウムが計画され、話題提供者の人選まで進んでいた。

このような状況の中で、今後の気候変動のシンポジウムは上記三者の共催で開くことが望ましいということになり、今年度のシンポジウムを下記の要領で開くことにした。開催期日がかかなり予定より早まったが、会員各位の積極的な参加を期待するものである。

日本気象学会講演企画委員会

### 記

## 気候変動に関するシンポジウム

### ——雲と放射の問題点を中心にして——

**主催** 文部省特別研究「環境科学」気候変動と人間活動  
検討班  
日本学術会議地球物理学研究連絡委員会世界気候  
小委員会  
日本気象学会

**日時** 昭和54年8月24日(金) 13.00~17.00

**場所** 気象庁講堂

#### プログラム

13.00 開会の辞 山本義一(東北大学・名誉教授)

13.10~14.50

司会 内田英治(気象研究所予報研究部長)

1. 13.10~13.30 世界気候プログラム(WCP)

について

関口理郎(気象庁企画課長)

2. 13.30~14.10 雲の気候学

井沢竜夫(気象研究所台風研究部第

一研究室長)

3. 14.10~14.50 雲の放射特性

田中正之(東北大学理学部教授)

14.50~15.00 休憩

15.00~17.00

司会 片山 昭(気象庁長期予報課長)

4. 15.00~15.40 気候における雲の役割

武田喬男(名古屋大学水圏科学研究  
所教授)

5. 15.40~16.20 気候モデルにおける雲の取扱い、

新田 尚(気象庁電子計算室数値予  
報班長)

6. 16.20~17.00 総合討論

参加者全員

17.00 閉会の辞 山元竜三郎(京都大学理学部教授)

## 記

## 気候変動に関するシンポジウム

## ——海の問題を中心にして——

- 主催** 文部省特別研究「環境科学」気候変動と人間活動  
検討班  
日本学術会議地球物理学研究連絡委員会世界気候  
小委員会  
日本気象学会
- 日時** 昭和54年9月13日(木) 13.00~17.00
- 場所** 気象庁講堂
- プログラム**
- 13.00 開会の辞 山本義一(東北大学名誉教授)
- 13.10~15.10  
司会 浅井富雄(東京大学海洋研究所教授)
1. 13.10~13.50 亜熱帯海洋循環  
蓮沼啓一(東京大学海洋研究所助手)
2. 13.50~14.30 黒潮の長期変動  
寺本俊彦(東京大学海洋研究所教授)
3. 14.30~15.10 海のはこぶ熱量  
高野健三(理化学研究所主任研究員)
- 15.10~15.20 休憩
- 15.20~17.10  
司会
4. 15.20~16.00 海面過程からの気候変動への  
アプローチ  
鳥羽良明(東北大学理学部教授)
5. 16.00~16.40 海洋変動の大気大循環に及ぼ  
す影響  
片山 昭(気象庁長期予報課長)
6. 16.40~17.00 総合討論  
参加者全員
- 17.00 閉会の辞 山元竜三郎(京都大学理学部教授)

## 「朝日賞」受賞候補者の推せん募集

昭和54年度「朝日賞」受賞候補者推せん募集が朝日新聞社よりきています。

朝日賞は、昭和49年度まで、文化・社会奉仕・体育の3部門に分かれていましたが、50年度からこれを一本化して、学術・芸術・科学技術・社会福祉・体育、その他あらゆる分野を選考の対象とし、各分野で傑出した業績をあげ、わが国の文化・社会の発展と向上に多大の貢献をした個人または団体に贈ることになりました。

今年度は原則として、昭和54年1月1日から同12月31日までに完成または完成予定の業績を対象としますが、長年にわたる業績にも贈ることができます。また賞は、

正賞を賞牌(はい)とし、別に副賞(賞金=1件につき百万円)を贈ります。受賞者と業績は、昭和55年初めの朝日新聞紙上で発表し、同1月中旬に贈呈式を行ないます。

応募者は、8月末日までに下記担当者までお申し込み下さい。

## 記

〒100 千代田区大手町1-3-4

気象庁電子計算室

新田 尚

電話 03-212-8341 (内) 449